

長岡造形大学に合ったサインシステムの構築

THE WAYFINDING SIGNAGE SYSTEM CONSTRUCTED FOR NAGAOKA INSTITUTE OF DESIGN

長岡造形大学に合ったサインシシステムをつくる

多くの学生が大学内で何度か迷ったことがある

しかし

長岡造形大学にサインシステムと呼べるものがない



抜本的解決にはサインシステムが必要では？

みんなにわかりやすいサインをつくる

長岡造形大学の特徴に合わせたデザインをする

三年次冬(2021年11月)

長岡造形大のサインって「やさしくない」よね

簡素な案内板が数箇所設置されているだけ。

ただでさえ複雑な建物であるにも関わらず
動線に全くと言っていいほど案内が存在しないので迷う。



新しいサインを導入して「やさしく」しよう!

新しいサインを導入することによって移動が円滑化し、
みんなが迷うことが少なくなるのでは?

四年次春(2022年3月)

三年次の経験を生かしてより良いものを作りたい



学生などへの調査を行うことで効果的なサインシステムを構築する

移動の利便性を高めるサインシステムの構築

変更に対応できるフレキシブルなサインシステムの構築



改めてサインシステムの基礎から勉強しよう

四年次夏(2022年7月)

基礎から長岡造形大学に合ったサインシステムへ応用

長岡造形大学に必要なサインを検討

建築デザインや展示物に対応し、
それらを邪魔しない形でのサインを探求



アルファベット・色・パターンで幅広い案内を

建物名をそれぞれアルファベット・色・パターンで再定義。
パターンで面積を多く取れない色を補完する形でモックアップ画像を作り提案

前期発表後(2022年9月)

コンセプトはとても良いと評価
しかし新しさ、ダイナミックさが不足

とても良い切り込みだと思うが、どうせやるならもっと大胆な制作を。

わかり易すぎて悪いことは何一つない。

既存のものに手を加えていくのも悪くないが、インタラクティブなデザインを
提案できればなお良いのでは。



実際にサインシステムが適用された大学で見識を深める
長岡造形大学へ応用できる「新しい」サインを探求する

中間発表前(2022年11月)

新潟工科大学へ視察を行い、現場の声を伺った

あくまで案内の主体は「学生」である。

ただしオープンキャンパスや来校者の方にもわかりやすく。

なにも案内方法は「サイン」だけではないのでは？

いままでサインばかりに固執していたが、

スマホアプリをを使用し、位置情報を活用した新しい案内が行えるのでは？

サインとスマホアプリの双方が補完し合う案内方法の模索

現在(2022年11月)

素材や印刷方法を探求

フレキシブルさと長岡造形大らしさを併せ持つデザインのために
ふさわしい素材や印刷方法を探し試行した。

表示はシンプル 内容は豊富に

複雑な構造をわかりやすくするための案内と建築デザインを損なわない案内
その両方を保った状態での最良のサインデザインについて
最後まで検討を重ねました。

サインの役割

施設を利用するための情報支援

施設の表情やイメージの強化



施設をわかりやすくして施設の雰囲気伝える

サインの種類

案内サイン	フロアガイドや総合案内板のようなもの
誘導サイン	矢印を使って対象物の方向を示すもの
記名サイン	部屋の入口にある表札のようなもの

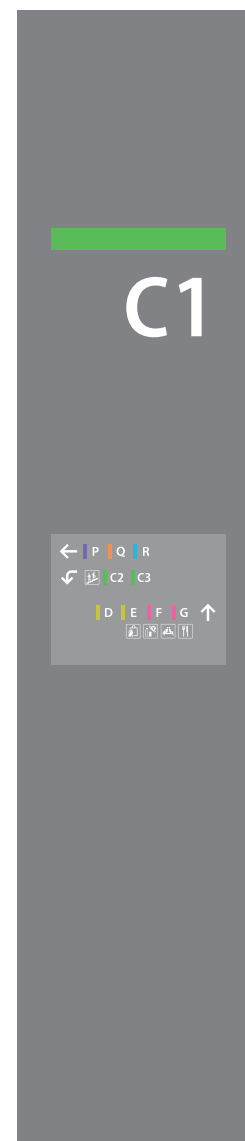
施設内におけるサインは主にこの三種類



案内サイン



アプリケーション



誘導サイン



記名サイン

01

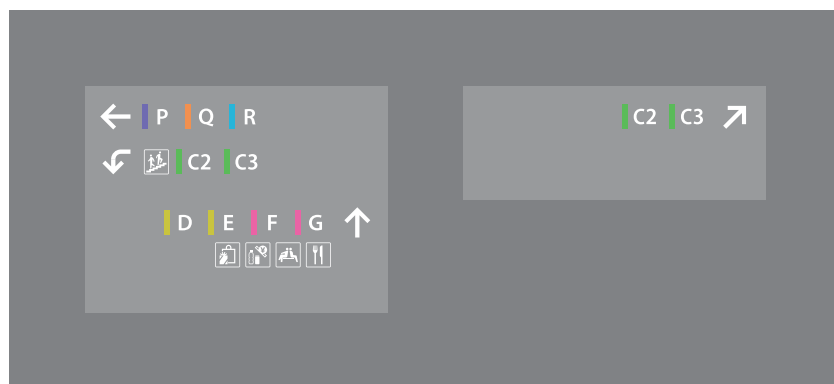
案内サイン

またはアプリケーションで
目的の部屋とエリアを確認

The image displays a mobile application interface for navigating a building. On the left, a smartphone screen shows a menu with categories like '研究室' (Research Room), 'アトリエ・スタジオ・工房' (Atelier/Studio/Workshop), and '講義室・演習室' (Lecture/Workshop Room). Below the menu is a list of rooms, including 'A1 理事長室' (President's Office), 'A1 学長室' (Dean's Office), 'A1 副理事長室' (Vice-Chairman's Office), 'A1 A104応接室' (A104 Reception Room), 'A1 A105応接室' (A105 Reception Room), 'A1 図書館' (Library), 'A1 事務局' (Secretariat), 'A2 真壁研究室' (Makabe Research Room), 'A2 岡谷研究室' (Okaya Research Room), 'A2 天野研究室' (Tanino Research Room), 'A2 菅原研究室' (Sugawara Research Room), 'A2 阿部研究室' (Abe Research Room), 'A2 小林研究室' (Kobayashi Research Room), and 'A2 平山研究室' (Hirayama Research Room). On the right, a detailed floor plan is shown with a legend. The legend lists various areas and rooms, such as '共有スペース' (Common Space), 'A1 図書館' (Library), 'C1 売店' (Shop), 'E2 展示スペースB' (Exhibition Space B), '事務局長室' (Secretary General's Office), 'A104応接室' (A104 Reception Room), 'B1 事務局' (Secretariat), 'A2 真壁研究室' (Makabe Research Room), 'A2 岡谷研究室' (Okaya Research Room), 'A2 天野研究室' (Tanino Research Room), 'A2 菅原研究室' (Sugawara Research Room), 'A2 阿部研究室' (Abe Research Room), 'A2 小林研究室' (Kobayashi Research Room), and 'A2 平山研究室' (Hirayama Research Room). A large 'i' icon is positioned above the floor plan.

02

誘導サインの
エリア表示に従って移動



03

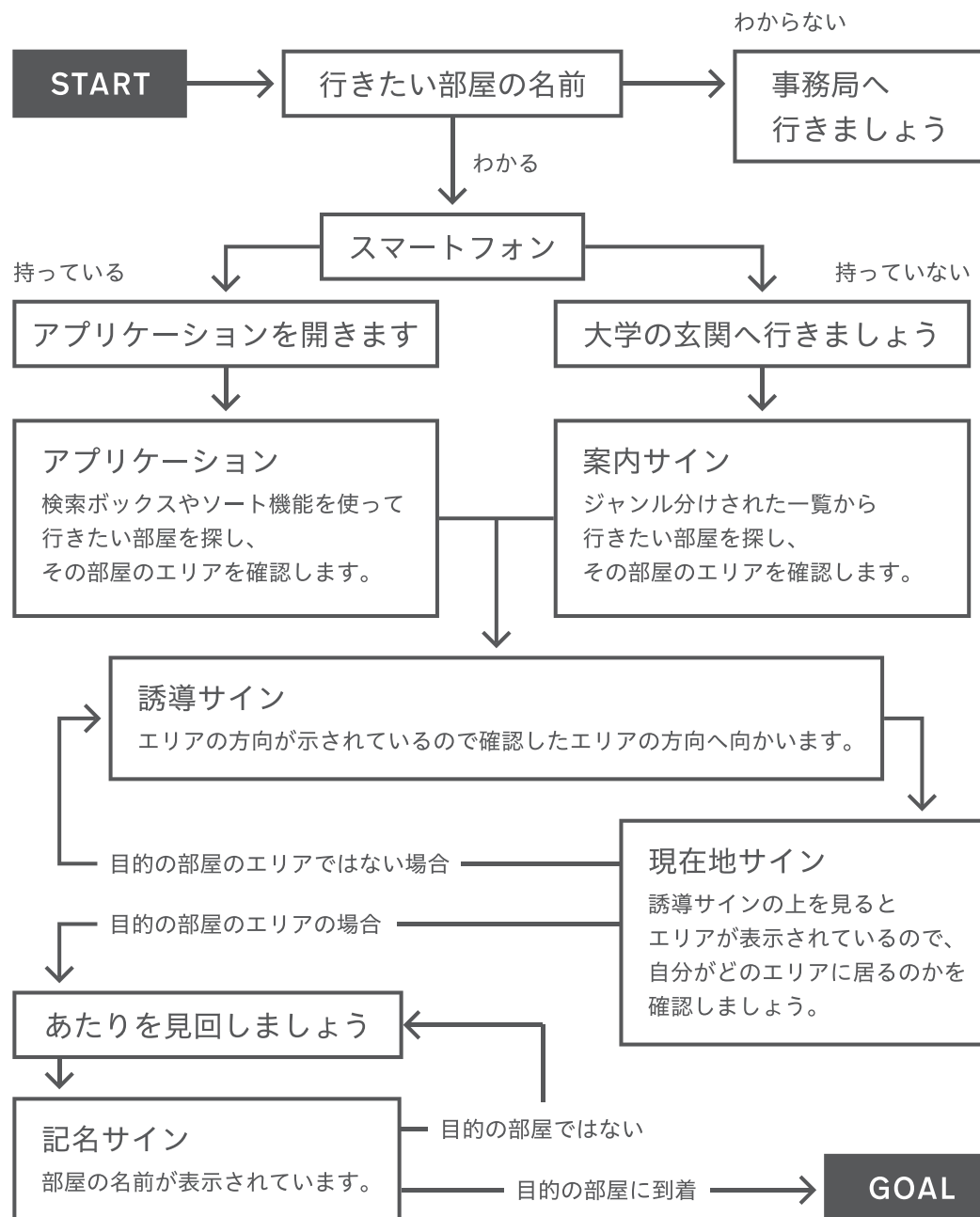
現在地表示を確認し
目的の部屋があるエリアと
照らし合わせる

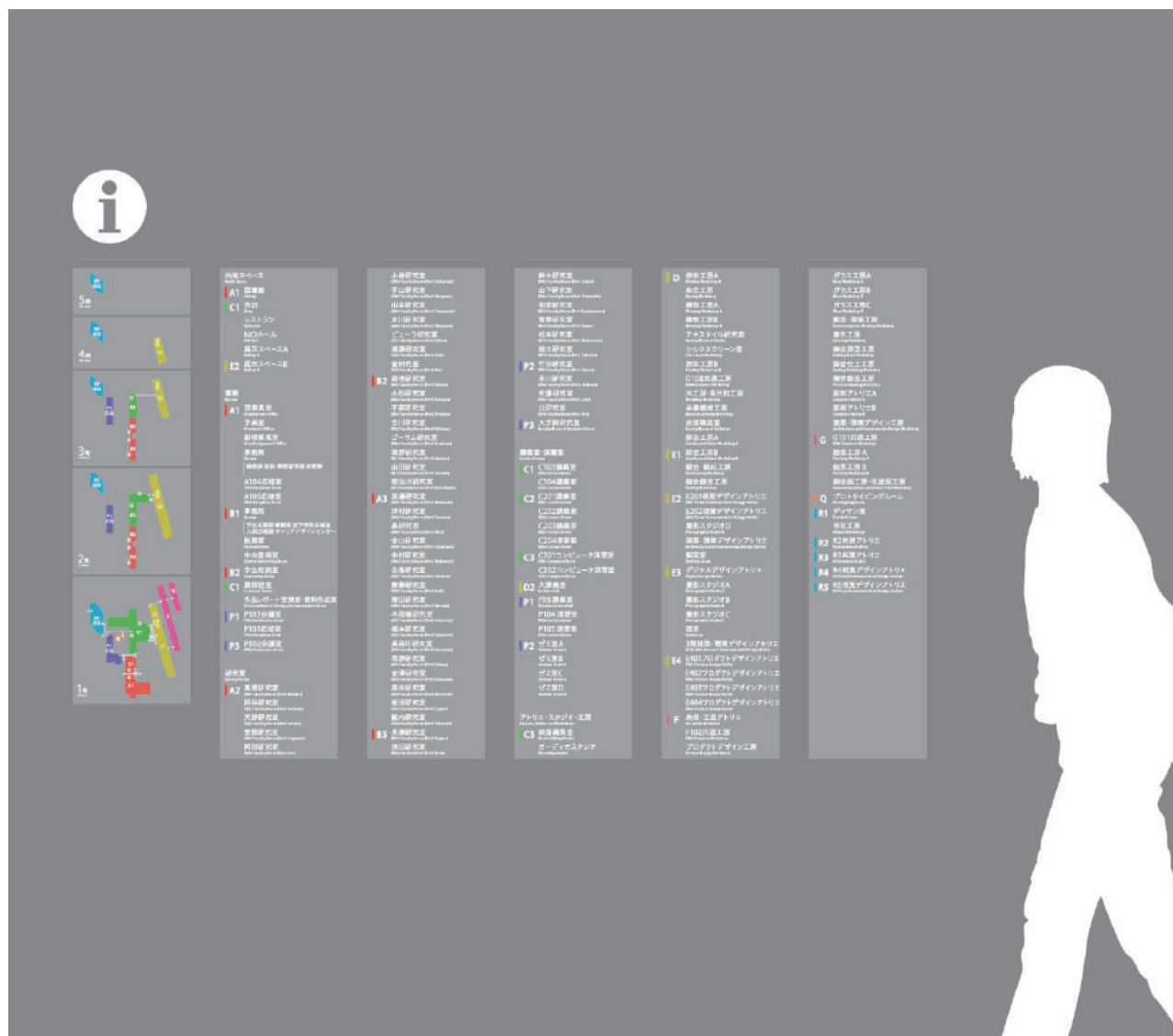


04

記名サインで
目的の部屋を確認







設置場所

西北玄関（来賓用玄関）

用途

- 部屋の一覧
- 部屋名とエリアの紐付け
- エリア分けのフロアマップ

説明

- 各部屋とエリアをすべて表示している。
(展示は都合によりフロアマップと一覧一列のみになっています。)
- マグネット式で交換を容易にすることで教授入れ替えや部屋名の変更にも対応。
- 部屋の分類ごとにまとめている。
- フロアマップはこのサインにおいては必須ではないが、おおよその目安として設置している。



使用できる場所

インターネットと端末があればどこでも

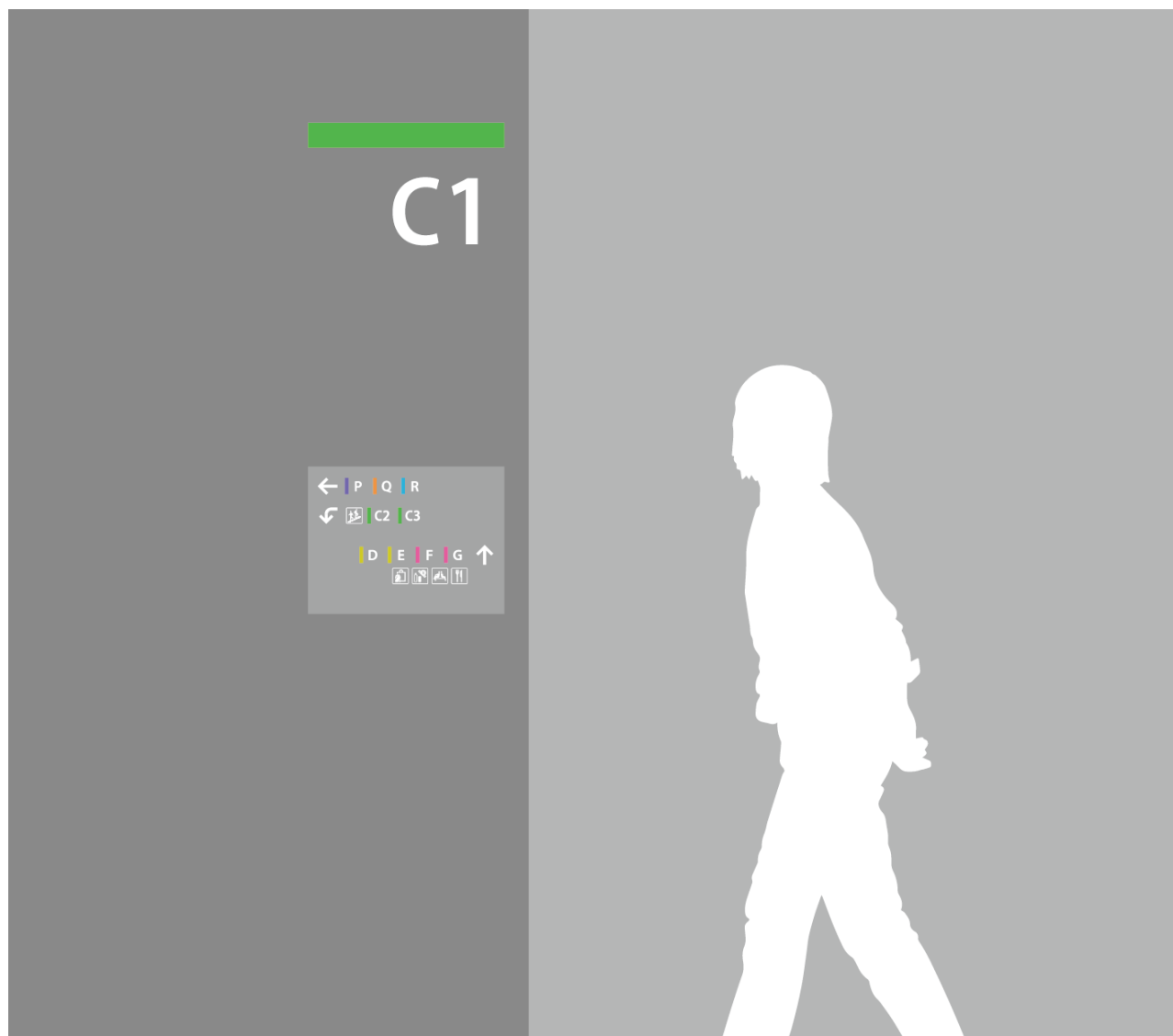
用途

- 案内サインの補完
- 部屋の一覧
- 部屋名とエリアの紐付け

説明

- 端末で閲覧できるWebアプリケーション
- 案内サインと異なりどこでも手元で確認が行える。
- 単語検索やジャンルごとのソートが利用できるため、スムーズに確認が行える。
- 以下の QRコードから実際にアプリケーションを体験できます。





設置場所

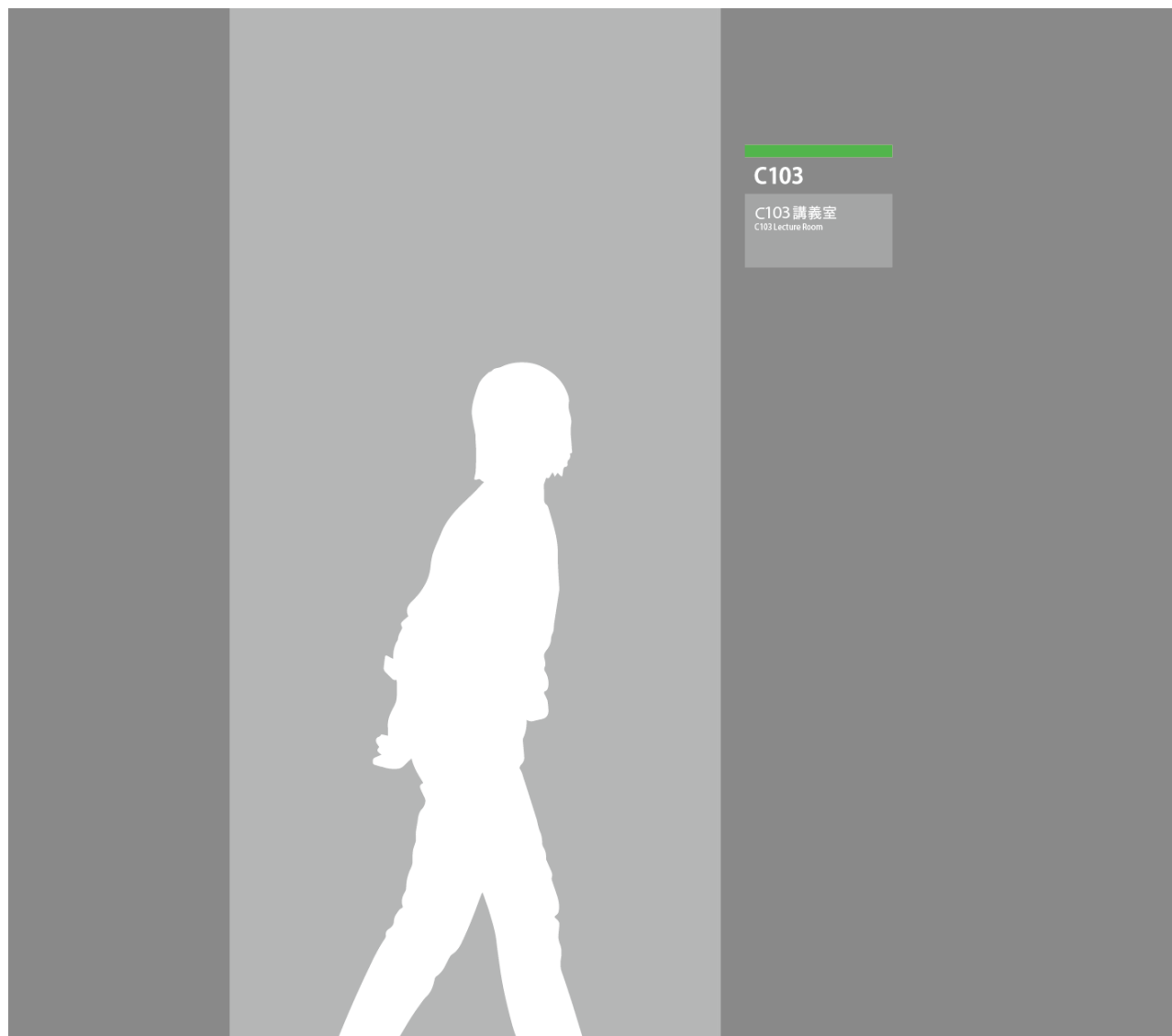
学内各所（展示は更衣室脇の階段で実施）

用途

- 他エリアへの誘導（道案内）
- 自動販売機など各種設備への誘導
- 現在のエリアを表示

説明

- 現在のエリアを大きく表示し、現在地を確認しやすくしています。
- 透明アクリル板を使った、景観に馴染むデザインをしています。
- 学生の目に入りやすい高さに調整して設置しています。



設置場所

各部屋のドア横

用途

- ドア内にある部屋名称・部屋番号を表示

説明

- 各部屋の前にあるため、数が増えて
景観を壊さないように色面積を少なく
しています。

エリアについて

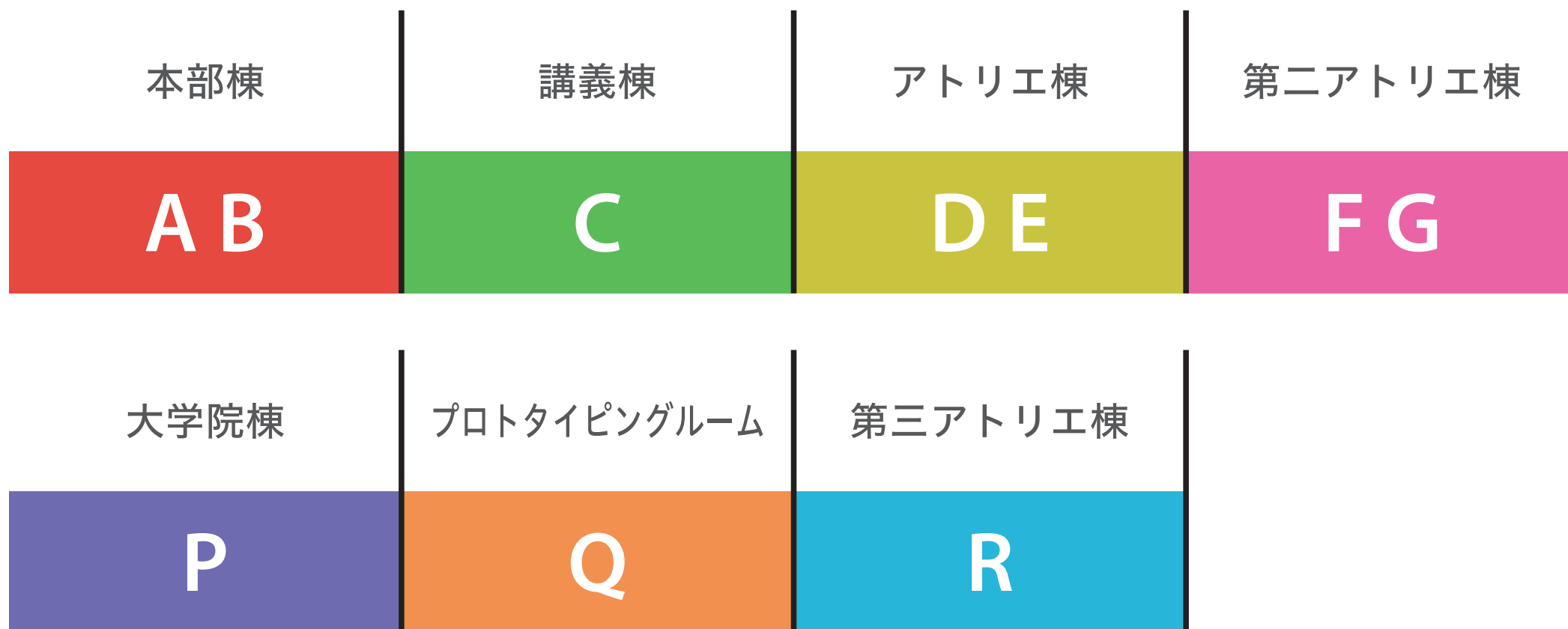
複雑なキャンパスの構造

わかりにくい施設の名称

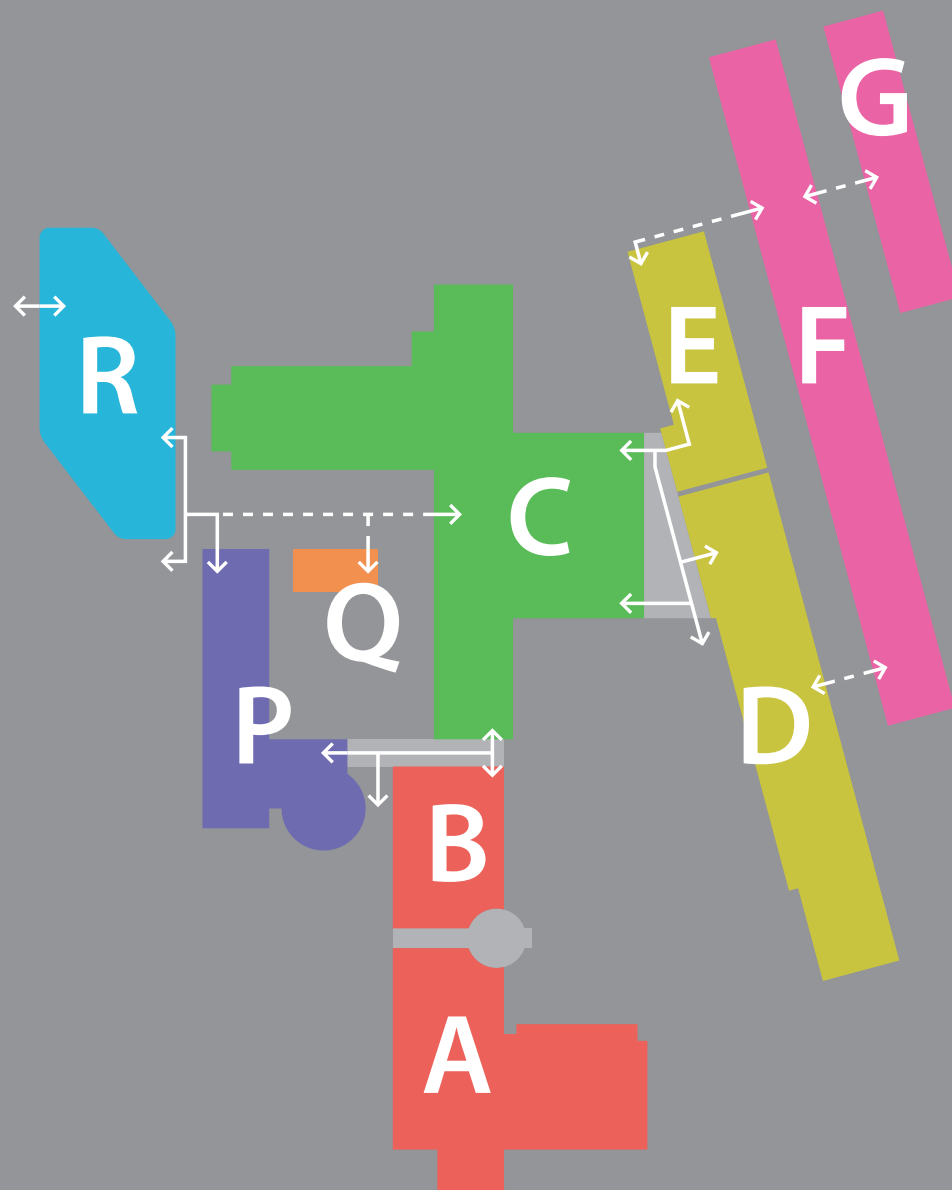


エリアカラーと記号を導入

直感的にわかるよう再構築



既存名からアルファベットのエリア記号を制定しエリアカラーを配色



長岡造形大学

ながおかぞうけい

ヒラギノUD角ゴ

ナガオカゾウケイ

ヒラギノUD角ゴ+Myriad Pro SemiCondensed

C103講義室

Nagaoka Institute of Design

ABCDEFGHIJKLMNPO

Myriad Pro SemiCondensed

1234567890

アルファベット 1.2Q 数字 1.236Q 日本語 (基準サイズ) AQ

C103講義室

C103 Lecture Room

0.6Q
欧文

フォントサイズ

和文サイズ (基準)
AQ(0.25A)

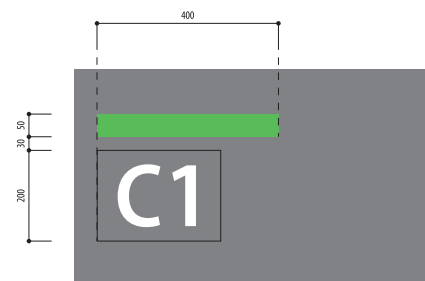
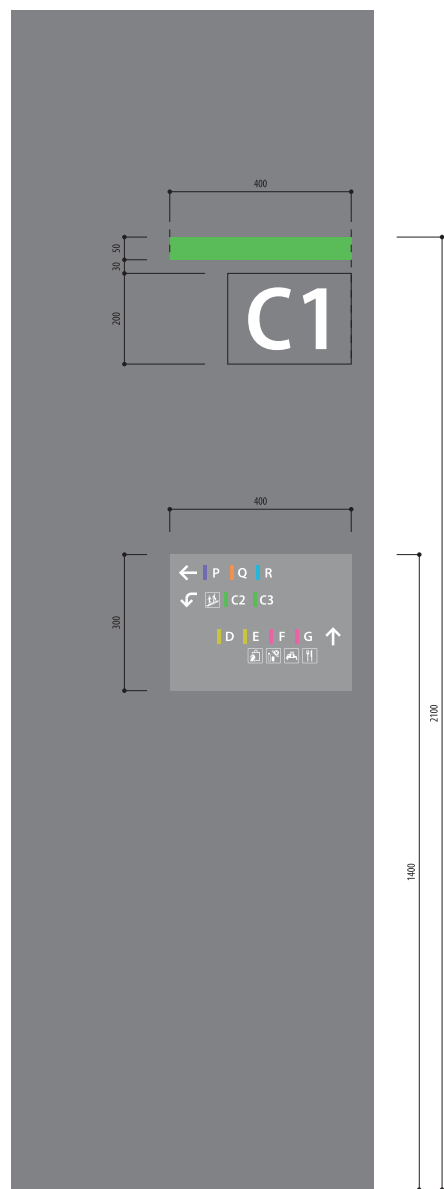
C103講義室

和文 (混植含む)
A*0.02

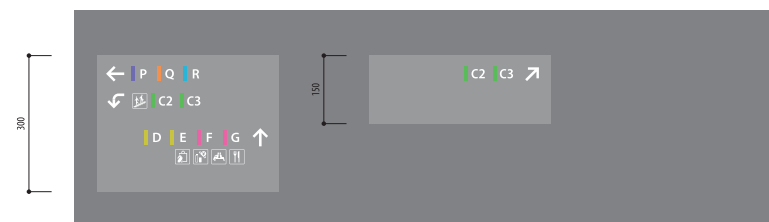
C103 Lecture Room

欧文
A*0.05

ベースライン高さ

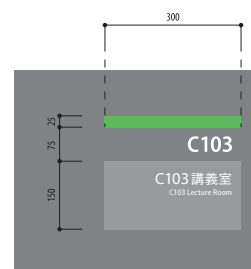


通常は左揃え（サイン右側で折れている場合は右揃え）



標準サイズは 300、小サイズは 150

制作したサインの詳細



扉が右側の場合は右揃え

